



潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

大津島データ 132世帯
人口170人 男72人 女98人
高齢化率77.1%
(令和7年3月31日現在)



新そよかぜ号が島を走る

馬島方面を安全に走るコミュニティバスが新車になりました。
その名は「そよかぜ号」トヨタ車のルーミー(運転手を含め5人乗り)小型乗用車です。「乗り心地は良い」と聞きますが、小さな欠点は荷物が今までのように積みません。
そんな時は往復して、皆様をお送りいたしますので少し待っていただきますが交通手段としてご利用ください。

「きずな号」もお馴染みで走行しております。6名の運転手が2台に交代で「島の足」のお手伝いをします。運転手は安全運行に努め、細心の注意をしての運転をしています。
これからも、コミュニティバスのご利用をよろしくお願いいたします。

文川大津島保健組合 小倉 敬子

・5年ごとに更新



おもて



うら

生涯学習推進講座 「お得なマイナンバーカードの利用」

文川大津島支所 中村 卓広



約2年ぶりに大津分館にて生涯学習推進講座を担当させていただきました。今回はマイナンバーカードを取得することで便利になる事例を紹介しました。参加者の半数くらいがマイナンバーカードを取得されており、スマホ利用者は3分の1程度でしたが、前回に比べて普及が進んでいるように感じました。スマホとマイナンバーカードを連携させる例が多く、それほど易しくはない内容でした。それでも質問が3、4件と出たので、少しは興味を持っていただけたように思われました。次回また2年後…と言わず、暮らしに役立つネタがそろえば随時開催したいところです。

令和7年3月13日14時
大津分館にて

これからよろしくお願ひます

お世話になりました



昨年12月から郵便局で働きはじめた新人です。大津島の局には週1、2回ほど勤務の予定です。よろしくお願いいたします！

大津島郵便局 吉富 孝亮



4月から大津島デイサービスセンターに介護職員として勤務することになりました。みなさんが笑顔で楽しく過ごして頂けるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

大津島デイサービスセンター 岩坂 智之



3年前より月2回勤務でしたが、4月より月15回勤務する事になりました。利用者の方々の健康維持の為、楽しい時間を過ごせるお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

大津島デイサービスセンター 光永 郁代



この度満開の桜に迎えられ、回天記念館に赴任してきました山本です。私自身もここで学びながら、ご来館くださる方々に「回天」について理解を深めていただき、この記念館が後世に受け継がれていくよう努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。回天記念館(文化振興課) 山本 尚秀

この3月末で一旦島を離れる事にしました。理由は去年の中頃から体調が万全でない中、年末に少し重めの病気をしてしまった事です。思い起こせば6年前の2019年の1月某日、雪の降る日に軽トラでやって来ました。何かと雨やら雪やら降るので某よ〇ちゃんから雨男呼ばわりされてたのを懐かしく思います。さて、馬島待合所、大津島支所(宿直)、大津島郵便局、消防団、潮流会議のメンバーと色々な経験をさせて頂きました。大津島海の郷では小池所長のご厚意でスポットでお世話になる事もあるので、島をうろろろしていることがあるかもしれませんが、不審者(ふしんしゃ)ですので是非声を掛けないようにしてください。個人的に昭彦さんと一番よくお話をしていたなぁとしみじみ思い出します。おにぎりをくれたり、郵便局で雑談をしてました。昭さんの後釜で仕事をさせて頂いたのも何かの縁と思っています。最後になりますが、お世話になった皆様誠に有難うございます。個人名をこれ以上書くとそれだけで潮流1ページが埋まりそうなのでこれ位にさせていただきます。皆様どうぞお元気で過ごしてください！

大津島郵便局 内山 剛



3月末で退職いたします。大津島の皆様には、大津島支所勤務時から大変お世話になりました。最後の3年間は回天記念館で働かせていただきましたが、穏やかに過ごせたと思います。船での通勤や欠航を心配しながらの勤務、何度もイノシシと遭遇したのも良い思い出です。しばらく休んでこれから何ができるか考えようと思っています。本当にありがとうございました。

回天記念館(文化振興課) 佐伯 良光



3年半、本当にお世話になりました。もう少し島で働きたかったですが、皆さん体に気をつけて下さいね。

大津島デイサービスセンター 浜津 慎太郎



桜満開





3月29日 第33回アイランドカップを開催しました。土曜日の開催にもかかわらず、4チーム、約20名の方に参加頂きました。本当にありがとうございました。成績は、



優勝は3勝0敗で、若さを活かしたチーム大友。準優勝は2勝1敗で、屋野郁夫さんの従妹の城平さんが中心の徳山中央。助人が最大限利用した、松田君率いるチーム磊の島が、1勝2敗で3位。残念ながら、チーム還暦(若潮の会)は0勝3敗で最下位でした。最下位のチーム還暦も随所に、さすがというプレーをみせてました。特にレシーブ、サーブカットの安定感是他のチームより良かったと思います。さすが、元バレー部だけのことはあります。



が出来ました。本来なら盆に開催していた大会でしたが、近年の猛暑で、体力が持たないので春に、花見を兼ねて開催しましたが、あいにく、桜はまだ咲いておらず、寒波の影響で肌寒い懇親会となりましたが、有意義な時間を過ごせたと思います。来年も開催する予定です。島民の方々の参加も是非お願いします。



文川西山 和彦

知っちょるかな

「パンは旨い」



文川松本 千恵子

今度は何を書こうかと思った時、折しもテレビでは、加賀まりこが美味しそうに焼き焼きを食べている。肉はいいなあ、これは旨い。それにしても加賀まりこは、歳を取っても美しいなあ。それに食べながらも上品なこと。と、うっとり加賀まりこを眺めていたが、イヤイヤと我に帰る。自分の旨いは何だろうと考える。この身体の中には、どれだけの旨いが詰まっているかしら。食いしん坊の私、その時代ごとに色々食べて来たが、大人になって食べたどんな旨い物より、やはり子供の頃、貧しい時代に食べた物の方が記憶に残っているように思う。その中でも景色と共に鮮明なのが食パン。親が何かの用事で出掛けるために、「店でお金置いておいた。給食が無かった」という事は多分土曜日だったのだろう。子供達だけで、好きな物を買えるって事に少々興奮していたのを覚えている。ところが好きな物と言われて、まだ幼い妹と弟は主食よりはチョコの飴だのを買えと言ふ。私も心が動いたが、それぞれが好きな物を買える程お金は置いては無いのだ。子供心に考えた挙句、食パンを一袋買った。少し余ったお金で、飴だかなんかを二人に買って、誤魔化したような。で、買った物を持って、親の居ない家に帰るつもりにもなれないので少し歩いて公民館沖の練り堀に座って食パンを食べた。

味の付いてない食パンに、旨い物という感覚は無かったのに、食べてみると底味があった、旨い。「あれ、旨い。思った以上に良いじゃないか」と思いつつ、妹弟と並んで座り、練り堀から足をぶらぶらさせながら、島の上の青空を眺めて食パンを平らげた。あの時の食パンの味を思い出さずに、練り堀の上の妹と弟の笑顔と青空が浮かぶ。その後、美味しいパンがブームになる度に娘と買い漁ったのは、この時の思い出があるからに違いないと、自分を甘やかす。給食のパンはあまりおいしくはなかった。それでも麦飯ばかりの食生活の中では、新鮮だった。大人になり、駅弁屋の横がパン屋になり、ジャンポールが出来、丸和の中にも色とりどりのパンが並び時代が来た。島の商店にも、松月堂のパンが沢山売られて、子育て中にはどれほどパンを買った事だろう。いつの間にか、時代が変わって島の商店はなくなり、丸和も駅前前のパン屋も無くなった。それでもパン好きはスーパーに行くとき必ずパンを買う。その時には、懐かしさと山口愛で、松月堂のパンを選ぶ。ところがここへ来て、松月堂のパンが見当たらないなと思っていたら、廃業したと聞く。さくらっこ・ひまわり・コロネ、私の大好きなパンが幻になってしまった残念。しかし、私のパンのルーツは松月堂の食パンの、あの練り堀の上の味だ、いつまでも。

徳山湾見録

50

鉄の壁に囲まれて戦い続けた乗組員たち

文川大津島巡航 三崎 英和

回天を出撃地点まで運んで行った潜水艦。大島半島の太華山が背景に写り込んだ、回天を載せた潜水艦の出撃時の画像もいくつかある。で、当時、馬島に住まっていた方の中には、その様子を眺めていた方もおられたのではないであろうか。そんな潜水艦の乗務は過酷なものであることは、容易に想像できます。回天が主なテーマではありませんが、回天を載せた潜水艦が敵艦船に戦いを挑む話を描いた映画「真夏のオリオン」でも、他の潜水艦をテーマにした映画同様、壮絶なシーンが多数使われています。

潜水艦の作戦行動は、長ければ1か月にも及ぶため、出航当初は新鮮な食材を口にできていても、それはいつしか缶詰だけに変わり、爆雷による攻撃を受け始めて何十時間も潜航してしまつて、室温は40℃を超え、湿度は



イラスト 三崎さん

ところで、自衛隊では最近、女性隊員が潜水艦に乗務し始めています。海軍時代とは勤務環境はかなり改善されているとは言え、艦内での所属分隊にもよりますが、昼夜の区別もつかず、1日中、鉄の壁に囲まれて生活することは従来のままですので、彼女たちの頑張りには、本当に頭が下がります。